

プレスリリース
2019年3月

手首に輝くデザインカルチャー。



バウハウス 100 周年を記念して 18K ホワイトゴールドを使用した限定エディション、
“WG マックスビル バイ ユンハンス クロノスコープ” を発表。

2019 年はバウハウスの年です。100 年前に創立されたこの革新的な学校では、優れた専門ノウ
ハウを備えたクリエイティブなデザイナーが数多く養成されました。そして、余計なものを省
いた、クリアなフォルムとカラーを用いたデザインによって、ドイツのインダストリアルデザ
インの概念に決定的な影響を与えた教育機関でもあります。

こうしたバウハウスの特徴が、100 本限定のバウハウス 100 周年記念 “WG マックス・ビル バイ
ユンハンス クロノスコープ” のデザインにも決定的な役割を果たしています。このラインは最も本
質的なこと、可読性の向上に焦点を当てています。使用されているカラーは Dessau のバウハウ
ス校の建築からインスピレーションを受けたものです。ダイヤルはバウハウス校の白壁をイメージ
し、赤色のデイト表示は校舎の有名なエントランスを表わしています。まさにこのドアからマックス・
ビル自身もバウハウス校に足を踏み入れたのです。この時計の特記すべき特徴はケースです。

18K ホワイトゴールドのケースはマックス・ビル
クロノスコープに今回初めて使用されました。

デッサウにあるバウハウスビルディングは 100 年
近くにわたって機能的な工業建築の先駆けとなっ
ています。この建物の正面には最も印象的な要
素である大きな窓と一際目をひく「BAUHAUS」の
文字があります。“WGマックス・ビル バイ ユンハ
ンス クロノスコープ”のシースルーバックにはまさ
にこの眺めが赤いドアとともに見られます。そして
このシースルーバックの歴史的で有名な窓を通し
て、自動巻ムーブメントの魅力的なメカニズムの
一部を透かし見ることができるのです。



バウハウス 100 周年記念 “WGマックス・ビル バイ ユンハンス クロノスコープ”
初めてホワイトゴールド素材を使用した デザインカルチャー。

バウハウス **100** 周年記念
“WGマックス・ビルバイユンハンス クロノスコープ”
仕様



Maßstab 2:1

027/9900.02

予価 ¥980,000(税抜き)

限定: 100本、5月発売予定

- ムーブメント: 自動巻ムーブメント J880.2、48時間パワーリザーブ機能、日付表示
- クロノスコープ: ストップセコンド、30分および12時間積算計
- ケース: 18K ホワイトゴールド、直径 40.0 mm、厚さ 14.4 mm、
両面反射防止加工ドーム型サファイアクリスタル、
バウハウスのモチーフが印刷され部分的にムーブメントが見える
5本のネジ付きシースルーバック
- ダイヤル: ホワイトグロッシーのダイヤル、ルミナスポイント
- 針: 環境にやさしいスーパールミノバ付き針
- ストラップ: 18K ホワイトゴールドのバックル付きポリッシュ仕上げブラックカーフレザーストラップ
(子牛革)
- 防水性: 3気圧
- 特徴: レッドのデイト表示

Junghans – Live your style

150年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが1861年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに1903年に、ユンハンスは3000人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーでした。精密なムーブメントの開発によって、1951年にはドイツ最大の、そして1956年には世界第3位のクロノメーターメーカーとなりました。1972年に開催されたミュンヘン・オリンピックでは公式タイムキーパーを務め、時間計測の分野で新基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009年にはシュランベルクの実業家ハンス＝ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代に入っています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品を、歴史ある本社内で製造しています。2018年には本社にあるテラス式建物が100周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930年代以来製造されているマイスターコレクションやマックス・ビルのタイムピースはその好例です。1956年にスイス人デザイナー、マックス・ビルと共同でデザインされたクラシックなパウハウス・ウォッチ、マックス・ビルコレクションは、今日も当初のデザインとほとんど変わらない形で製造されています。1990年にはユンハンスは初の電波腕時計を発明し、新基準を打ち立てました。2018年、新世代のインテリジェント電波式ムーブメントを開発し、優れた精度と正確性によってこのテクノロジーが新たに注目を集めています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現のFORMコレクションがその例で、スタイリッシュなモデルにそうしたデザイン言語があらわれています。その洗練された完璧なデザインによって、ユンハンス時計は150年以上にわたり、時計製造とデザインの見事な融合を実現しています。

問い合わせ先